

白樺公園登山口・物見石山・美ヶ原高原の植物観察会

白井 幸長

第137回例会は、平成2年6月30日(土)・7月1日(日)に小県郡武石村小沢根、白樺公園登山口→物見石山→美ヶ原高原のコースで植物観察会が行われた。参加者は当日参加者も含めて、池田登志男・花里弘・斎藤定美・中沢袈裟延・宮島吉彦・小口好久・平林陸男・北村彰・岩田睦雄・幹事の白井幸長の10名であった。

第1日目(6月30日)：4時半頃雲溪荘に集合した。その駐車場周辺の斜面には、アカショウマ・ミヤマホウソウ・アワブキ・ケンボナシ・ヒヨクソウなどが見られた。夕食前宮島さんが持ってこられた標本を花里・池田両先生が同定された。又花里先生はチダケサシ属の分類について詳しく説明された。夕食後も6名で植物談義に花が咲き懇親を深めることができた。

第2日目(7月1日)：昨夜から心配の天候であったが、小雨の中を8時40分頃宿を出発した。数台の車に分乗して白樺公園登山口に向かった。9時に到着する。ここは標高1400mである。ここに車を駐車して観察に移る。観察に先だって池田先生より、類似植物の検索表を配布してもらった。これは9ページからなる小冊子で非常に参考になった。しばらくの間公園付近の植物を観察した。主な植物は、ヨモギ・ゴマナ・ミヤマキケマン・ハンゴンソウ・ハルザキヤマガラシ・イタドリ・ワラビ・フキ・カモガヤ・オオバコ・キオン・イケマ・ウド・ヨツバヒヨドリ・フクオウソウ(多)・ヤマドリゼンマイ・ベニバナイチヤクソウ(多)・ノイバラ・ノリウツギ・ユモトマユミ・アサノハカエデ・ズミ・ヤマブドウ・ミヤマニガイチゴ・ウリハダカエデ・イワガラミ(多)・ムシカリ・コシアブラ・タラノキ・ヤマウルシ・ニワトコ・キブシ・ツタウルシ・イボタノキ・リョウブ・ニシキウツギ(花)・クロモジ・モトゲイタヤ・シナノキ・トチノキ・シラカンバ・ダケカンバ・ホオノキ・ミズナラ・ウワミズガラ・コミネカエデ・ハリギリなどであった。

白樺公園より小道を通り美ヶ原に向かう。右側はカラマツの人工林になっており、林床にはクマイザサが繁茂していた。左側には別荘がところどころに見られた。小道を登るに従って見られる植物をあげるとオオバギボウシ・チゴユリ・ヒメユリ・ヒメスゲ・ヒメタガソデソウ・クガイソウ・ヘビノネゴザ・

スズラン・トボシガラ・ヤマヌカボ・ハナチダケサシ・キバナヤマオダマキ・コウライテンナンショウ・シシガシラ・クリンユキフデ・ミヤマナルコユリ・ノダケ・ホザキイチョウラン・ヤマスズメノヒエ・ノアザミ・シュロソウ・オシダ・オオバシヨリマ・ハナイカリ・オククルマムグラ・エンレイソウ・クモキリソウ・レンゲツツジ(花後)・マツブサ・ヒカゲノカズラ・ミヤマザクラ・ミヤマアオダモ・サビバナナカマド・シナノザサ(多)・オオバキハダ・ホソエカエデ・バイカウツギ・ヤマアジサイ・ガマズミ・ツルリンドウ・タチツボスミレなどである。

11時40分頂上公園(標高1600m)に着き、昼食をとる。付近の主な植物をあげると、ウツボグサ・ニガナ・シロバナニガナ・ウシノケグサ・ハナニガナ・コオニユリ・オトコエシ・ネバリノギラン・ミヤママタタビ・ムシカリ・アラゲアオダモ・ツノハシバミ・ニシキウツギ(花)・シロスミレ(花)・ヤナギラン・ヒゲノガリヤス・クサイ・シロバナヘビイチゴ・ヤマブキショウマ・ヤマツツジ(花)・タニギキョウ(花)などである。12時10分に頂上公園を出発し観察を続けた。1時30分頃、美ヶ原・物見石山まで35分のところに到着(標高1800m)したが、小雨のためここで観察を打ち切り、1時50分帰途についた。この付近の主な植物は、マツムシソウ・イワキンバイ・オオバギボシ・ヘビノネゴザ・ウスユキソウ・ヤマブキショウマ・コキンレイカ・イタドリ・コケモモ・ミヤマホツツジ・サワラ・アカマツ・ダケカンバ(多)・シラカンバ(ごく少)・トウヒ・ウラジロモミ・コメツガ・レンゲツツジ(花ざかり)・サラサドウダン・コミネカエデなどである。特にツマトリソウ・テガタチドリ・ハクサンフウロのきれいな花が印象的であった。

帰りは元来た道を引き返したわけであるが、別荘地でオオイタドリを観察することができた。白樺公園登山口に2時40分に着き、ここから車で雲溪荘に到着したのは3時であった。やや天候が悪く目的地の美ヶ原高原まで行くことは出来なかったが、会員の皆さんの協力により有意義な満足すべき観察会が出来たと思います。昨年に引き続き今回も終始お世話になった池田先生に感謝致します。